

角材柵 施工の手順

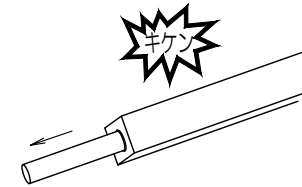
※作業前に所定の材料部材がそろっているか確認してください。

警告

設計強度は、水平荷重390N (40kg) /m、垂直荷重590N (60kg) /mです。
これ以上の荷重が掛りますと破損する場合があります。
可燃性の材料ですので野焼き等、火を近づけますと燃えたり変形したりします。
火の取扱いにご注意下さい。

注意

- ・横木を傾けると中の鋼管が抜け落ちる場合があります。持ち運ぶ際に傾けないで下さい。
- ・擬木は加工時（屋内）と施工時（屋外）温度変化によって伸縮します。
冬季の早朝は5～10mm短くなる場合がありますし、春から秋に直射日光に当たりますと5～15mm伸びることがあります。
10mm程度はボルトナットで締めると圧縮出来ますが、施工直前まで覆いを掛ける等直射日光に当たらないようにして下さい。
- ・ボルト、ナットを極端に強く締めると柱が割れることがあります。13mm以上長い場合は横木を切断して下さい。

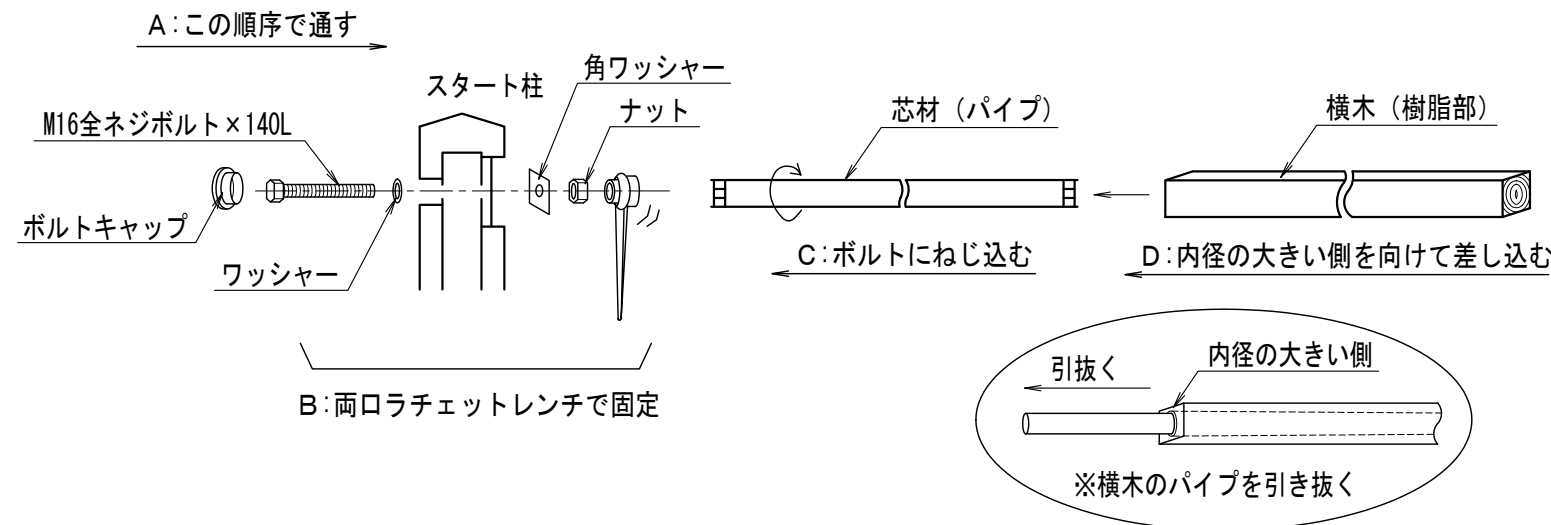


準備工具類

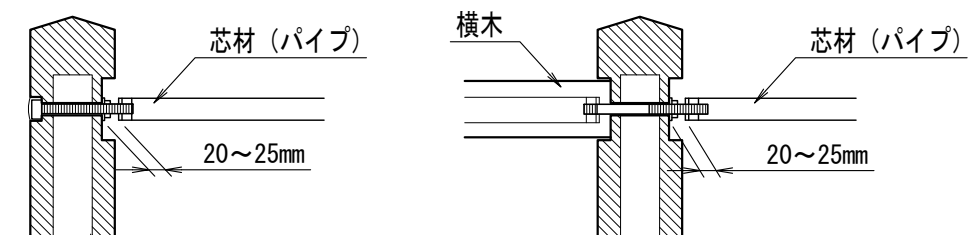
1. 24mm 両口ラチェットレンチ **注意**
2. ハンマー・カケヤ
3. 19mmソケットレンチ
4. 17mmスパナ
5. ドライバー
6. 電動マルノコ・手ノコ
7. ノミ・ディスクグラインダ

■施工方法

①スタート地点に支柱を据え付け、以下の図のようにAからDの行程で部材を取り付ける。



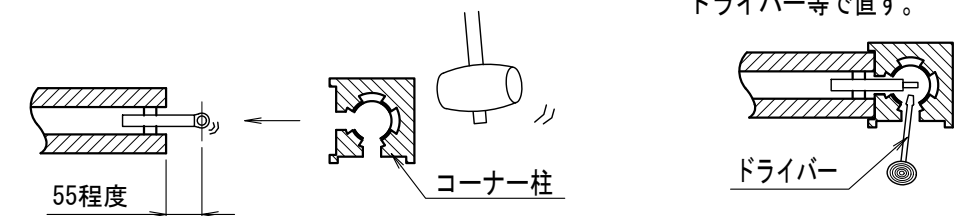
<パイプ締め付け時の注意事項>



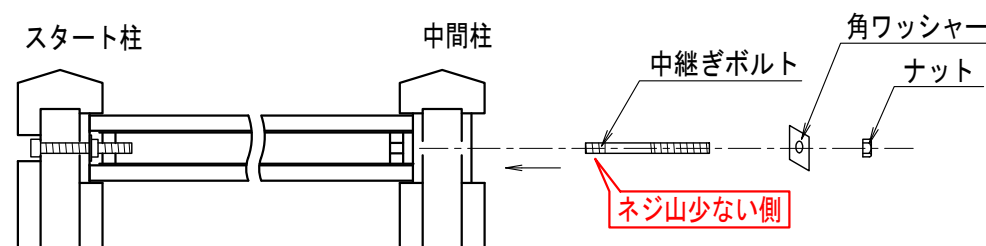
■コーナー部の施工方法

①90° 自在ボルトのナット側を手前に取り付け、柱をスライドさせる。

※ナットの角度が合わない場合は、ドライバー等で直す。

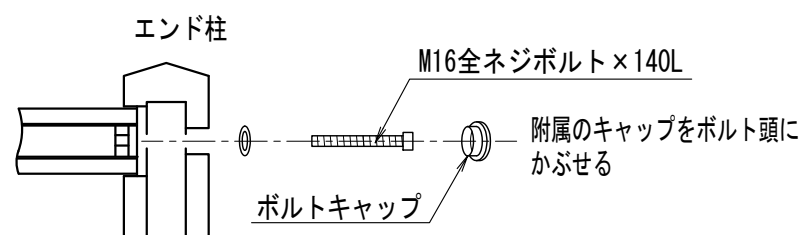


②次の支柱を据え付ける。①で据え付けた横木を中継ぎボルトで固定する。
同様にワッシャー・ナットと横木を取り付け、この工程を繰り返す。



⚠ 締めすぎ注意

③最後にエンド柱を据付ける。



⚠ 締めすぎ注意

③角ワッシャー・ナットを締め付け横木を取りつける。

